

フィンドレー大学月例報告書【8月】

国際文化学科 2年

こんにちは。私は8月～12月までフィンドレー大学に語学留学します。

留学を決めた理由は沢山ありますが、留学前は費用や英語力が気にかかり、決断が間違っていたのではないかと何度も自分を疑いました。しかし3週間経った今、留学を決めてよかったと強く感じています。このレポートには、留学の様子や今後留学する方に伝えたいことをまとめます。

●ビザ

留学準備の難関ポイントはビザ取得でした。大使館や領事館で面接を受ける必要があります。面接はなんと日本語2問でした。しかし、面接を予約するための情報入力や、当日持参する書類の作成・収集がなかなかハードでした。大阪（静岡県は管轄地域外）でも面接を受けられることが分かり、東京よりも早く予約が取ることができました。

●出発～1週目

日曜日に出発、到着しました。大学からデトロイト空港に迎えが来ます。スムーズに乗ることができ、それぞれのシェアハウスへ直行しました。1週目は、月曜から日曜まで、留学生や新入生の歓迎イベントや説明会があり、とても楽しかったです。10カ国以上の人と交流できました。

●2週目～

2週目からは英語の授業が始まります。今期、私のクラスはほとんど日本人です。また、内容がかなり初歩的な授業もあります。内容やレベルを変更することはできませんでした。しかし、先生たちは驚くほどにパワフルで明るくて面白いです。また、人数が少ないので発言・質問できる機会が多いです。9時頃授業が始まり、週3日は3時頃、週2日は12時頃に終わります。ほかに、コースの授業、子どもに日本語を教える授業に参加しています。その他、週1時間、日本語学習者の方とオンラインで話しています。日本語学科があるため、日本語教員の勉強にもなります。

●食事

食堂は食べ放題です。1週目は自由に出入りすることができ、2週目からはミールプランが適用されます。出来立ての料理、アジア風の料理、野菜や油分の少ない肉なども食べることができるため、食堂のご飯が大好きですが、あまり好きではないという人や飽きるという人も多いです。2週目の途中まではミールプランの変更ができます。私は週7食のミールプラン4にしました。近くのウォルマートで食材を買うこともできます。フィンドレーには飲食店が多いので、ご飯を食べに行くときもあります。友達や先輩が作ってくれたご飯をみんなで食べるときもあります。

●家

大学が管理するシェアハウス（ハウジング）に住んでいます。キッチンや、洗濯機・乾燥機なども使えます。ハウスメイトは10人ほどいますが、時間が合わずあまり話す機会がありません。部屋が寒くルームメイトもいないことから、移動の依頼をしました。来週移動予定です。

●支払い

留学開始後の難関ポイントは学費などの支払いです。振込またはクレジットカードで支払いを行います。振込は手数料が少ないそうです。クレジットカードは手数料がかかってしまいましたが、その分ポイント還元もあるため、おそらくどちらの方法でも金額に大きな差は出ません。しかし、振込の場合は事前に海外送金に対応できる口座を作っておく必要があるそうです。クレジットカードの場合は、一時的に上限を100万円程度まで緩和できるものを用意しておく必要があります。

●持ち物のポイント

- ・120V対応のドライヤー…プラグの形状は日本と同じです。充電器はそのまま使えます。
- ・掛け布団・シーツ（シングル）…荷物に入る場合は、圧縮&持参をおすすめします。
- ・ボトル…学内に給水機が沢山あります。水道水は飲めないそうです。
- ・筆記用具やノート…授業で使います。性能が良いもの(=日本製)は、アメリカでは高価です。
- ・眼鏡/目薬…個人差はありますが、湿度が低くコンタクトがあつという間に乾くため、目薬をこまめに差して使っています。眼鏡で過ごす日が多いです。
- ・冬服/お気に入りの服…8月ですでにフリースを着ています。日差しは強いのですが、エアコンの設定温度がかなり低いです。夏服は、学校で無料配布される半袖Tシャツを着ている人が多いです。服を褒め合う文化があるので、自分の好きな服を着ていて褒めてもらえるのが嬉しいです。

次回以降は、授業以外の時間の出来事や感じたことなどについて書きたいと思います。最後まで読んで下さりありがとうございました！

食堂のご飯です。



ゲームで仲を深めました。



五大湖で夕焼けを見ました。

